



TKK 共通シラバス

1. 科目名	地域の安全				
2. 教員名	村上 正浩	3. 担当大学	工学院大学		
4. 対象学年	3年	5. 開講時期	前期	6. 単位数	2単位

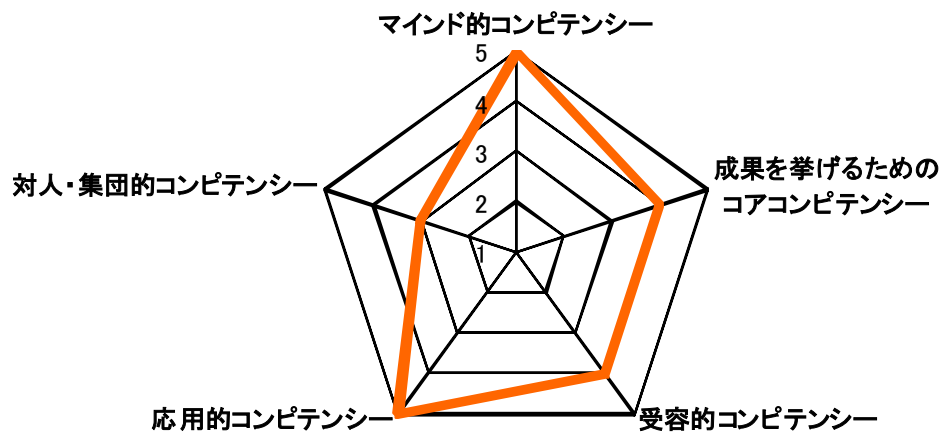
7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の内容（基本的枠組）（東）※必須					
【授業のねらい】 地震災害を主として過去の災害と教訓、都市・地域レベルの防災・防火対策と計画理論を学び、都市・地域の安全・安心を実現していくための知識を習得する。					
【達成目標】 ・ 自然災害や都市大火など過去の災害とその教訓を説明することができる。 ・ 防火・防災に関わる様々な法制度を説明することができる。 ・ 多様な空間スケールに応じた防災・防火対策と計画理論を説明できる。					
8. 授業のキーワード（神）					
地震災害、都市防火対策、都市防災対策、防災まちづくり、地域防災力					
9. 授業の進め方（神）※必須					
各回の授業までに教科書の該当箇所を事前に読んでおき、理解しておくこと。授業は講義形式で行う。地域の安全に関するレポート課題と最終の試験とあわせて、学習成果を評価する。					
10. テキスト、参考書、指定図書（神）					
○テキスト 日本建築学会編、「逃げないですむ建物とまちをつくる—大都市を襲う地震等の自然災害とその対策—」技報堂出版株式会社					
○参考書 梶秀樹・塚越功、「都市防災学 地震対策の理論と実践」、学芸出版社、など					
11. 授業時間外に必要な学修（神）事前、事後に受講してほしい講義等（東）					
【事前受講してほしい講義等】 社会貢献学入門、減災学入門					
【事後受講してほしい講義等】 建築の安全、災害危機管理					
12. 提出課題など（神）					
各回授業後のコメントカード、地域の安全に関するレポート課題					
13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法（東）※必須					
レポート課題 30%、定期試験 70%で評価し、合計が 60 点以上を合格とする。					
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、受講生への要望（東）					
15. 参考（ホームページ（神）、オフィスアワー（工）等）					
オフィスアワー 月曜日～金曜日 18:00～19:00 ただし事前に予定を確認のこと。 E-mail : murakami@cc.kogakuin.ac.jp					

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンス	講義の進め方とレポート課題の内容・評価基準について説明する。
第2回	我が国の災害環境とまちが抱える様々な課題	我が国の災害環境を理解し、まちが抱える様々な課題を学ぶ。
第3回	都市防災対策と事業・制度（1）	江戸時代以降の我が国の都市防災対策について理解する。
第4回	都市防災対策と事業・制度（2）	都市防災対策を実現するうえでの様々な事業・制度を理解する。
第5回	都市防災対策と事業・制度（3）	都市防災対策を実現するうえでの様々な事業・制度を理解する。
第6回	防災まちづくりの考え方と進め方	都市レベル・地区レベルの防災まちづくりの考え方と進め方を理解する。
第7回	震災に強い都市づくり（1）	震災に強い都市づくりの考え方と計画理論を理解する。
第8回	震災に強い都市づくり（2）	震災に強い都市づくりの考え方と計画理論を理解する。
第9回	地区防災まちづくり（1）	地区防災まちづくりの考え方と計画理論を理解する。
第10回	地区防災まちづくり（2）	地区防災まちづくりの考え方と計画理論を理解する。
第11回	地域防災力の強化と地区防災計画（1）	地域防災の担い手の現状と課題について理解する。
第12回	地域防災力の強化と地区防災計画（2）	地区防災計画の考え方を理解する。
第13回	エリア防災とエリアマネジメント（1）	エリア防災とエリアマネジメントの関係を理解し、エリア防災の実践事例を学ぶ。
第14回	エリア防災とエリアマネジメント（2）	エリア防災とエリアマネジメントの関係を理解し、エリア防災の実践事例を学ぶ。
第15回	学習成果の確認	定期試験を行う。

【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。



コメント

本講義では、特に「マインド的コンピテンシー」と「応用的コンピテンシー」の向上を目指す。防災意識や情報活用力、課題形成力の向上に力を入れる。